



地域の明日を医療で支える
地方独立行政法人 長野県立病院機構

しらくま 



長野県立こども病院

わたし達は、未来を担うこども達のために、質が高く、安全な医療を行います。

No.40
2016.1.12発行

ニュースレター



長野県立こども病院だより第40号 発行日：2016年1月12日 発行者：原田 順和
〒399-8288 長野県安曇野市豊科3100 TEL0263-73-6700 FAX0263-73-5432
<http://nagano-child.jp/> kodomo@pref-nagano-hosp.jp

Contents

新年のご挨拶	1
この人に聞く	2
臨床工学科の紹介	3
PICU増床コラム 院内学級展がありました 松本山雅FC病院訪問	4
エプソン「ゆめ水族館」 ムラタセイサク君・セイコちゃんが出来た！ 「ゆいの会」	5
MAYA MAXX原画展示 Azumino光のページェント 妖怪ウォッチカレンダーを寄贈していただきました	6
サンタプロジェクトの皆様からプレゼントをいただきました akush様からプレゼントをいただきました クリスマスツリーを飾りました	7
栄養課通信	7
東南アジアに行く	8
長野県立こども病院 小児医療・ 公的事業に係る支援のお願い	9
院内研修会予定 編集後記	



長野県立こども病院理念

わたし達は、未来を担うこども達のために、
質が高く、安全な医療を行います。

撮影：大畑淳

新年のご挨拶

長野県立こども病院 病院長 原田順和



平成28年の新しい年が明けました。皆様、新年おめでとうございます。本年も、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年は長野県立病院機構の第二期中期計画が開始された年になりました。皆様もご存知のとおり、長野県立こども病院は、平成22年度に地方独立法人長野県立病院機構の一員となりましたが、第一期中期計画を終了し、現在第二期中期計画の一年目を進行中であり、昨年度に導入したコンパクトドクターカーがこども病院のロゴマークをつけて、街中を颯爽と走っている姿をご覧になっている方も多いのではないかと思います。

第二期中期計画では、第一期中期計画に引き続き、長野県およびその周辺地域の小児周産期医療の中心となり、医療、研究、人材育成を推進することが挙げられています。また、タンデムマススクリーニングや予防接種などによるプレホスピタルケア、小児在宅医療などの、ポストホスピタルケアにも力を入れていくこととなります。

数年来、計画を練ってきた小児集中治療室(PICU)の基本設計、実施設計が進捗し、順調に行けば、新年度が始

まるころには基礎工事が開始される予定です。完成は平成29年秋を予定しています。新しいPICUが完成すれば、満床のために定期手術の延期をお願いしたり、重症患者が県内で発生しても受け入れ困難のため、他院に搬送をせざるを得ないこともなくなると思います。更新時期を迎えた電子カルテシステムについては、新年度に新しいシステムに移行することになりました。

国の方針では社会保障費の抑制が行われるようですが、小児医療にかかる医療費は高齢者にかかる医療費に比べ、現状ではまだまだ低く抑えられています。今年の診療報酬改定ではマイナス改定が予想され、また病院では控除対象外消費税の問題も重くのしかかっています。このような社会情勢の中でも、持続可能な病院経営を目指して、知恵を出し合いながら努力を続けていく覚悟であります。

今年の冬は、例年にないエルニーニョ現象のため、暖冬になるとの長期予報です。寒さのゆるい信州の冬はどうしたものかとも思いますが、職員一同、寒さに負けず一丸となって“未来を担うこども達のために、質が高く安全な医療を行います”という理念を実現すべく、努力したいと思っています。どうか、今年も変わらぬ皆様方からのご指導、ご鞭撻をいただければ幸いです。皆様方にとって、新たな年がすばらしいものとなるよう祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。



年が変わって心機一転、新企画「この人に聞く」の連載を始めることになりました。“気になるあの人”に編集部が突撃取材を行って色々なお話をうかがってくる企画です。最初に登場していただくのは、編集委員の間で真っ先に名前が上がった循環器小児科の安河内聡先生です。どんな話題で盛り上がったのか、ご期待ください。

～実はタモリの後輩です～

(編) 先生のご出身は福岡とうかがいましたが、どんな思い出がありますか？

(安) 高校はタモリの後輩なんだよね。彼は僕より10歳以上年上だけど、まあそういう雰囲気的高校だね。規律正しい高校というよりは割とバンカラで自由だった。学級委員長長の大事な仕事は、自習の時間があったら授業の調整をして早く帰れるようにするというような。

～学生時代は“武道派”でした～

(編) 先生の趣味は何ですか？スポーツは何かやっていたか？

(安) 学生の頃は剣道と少林寺拳法をやっていました。今は何もやっていないから、健康上非常に悪いよね。やらなきゃと思っているけどね。昔は登山もやっていて、北アルプスはだいたい登りました。

～私はこうして小児循環器医になりました～

(編) 先生は日本小児循環器学会理事長をなさっているとうかがっていますが、循環器小児科医を目指された理由を教えてください。

(安) 2013年8月から日本小児循環器学会理事長を2年半勤めています。

循環器小児科医になった理由ですが、もともと医学部を卒業した後はどこに行くのか決められなくて、横須賀の米海軍医療センターへ行きました。そこで1年間各科をローテーションし、信州大学の小児科に戻ってきました。最初は新生児科をしていましたが、後にカテーテルやエコーなど技術的で臨床的な症例が多い循環器を選びました。その頃の長野県は今よりはるかに後進県で、循環器の重症患者が出るとヘリコプターや救急車で東京の病院へ運んでいました。そうした状況から、長野県で生まれた子供が長野県で診断がついて治療できるような小児病院を造ってほしいと、当時の衛生部長に手紙を書きました。その後長野県でもこども病院を造るという話が出てきたんです。

～“沈黙はゴミ”～

(編) 先生が若い時に苦勞したことはありますか？

(安) 横須賀の米海軍医療センターはアメリカの病院なので日本とは全く違いました。まず、教育のシステムが違います。人に教えないと学習は完了しない、人に言われたことをやるのは学習じゃない。自ら疑問を持って疑問に対して自分で解決することが学習で、しかもその学習は人に教えてはじめて完成するのです。その時に言われたことは「沈黙はゴミ」。要するに何かを聞かれて黙っていることは、その人に何もアイデアがない、何も考えてないに等しいとみなされます。1年間そういった中にいました。

～理想のお医者さんと言われてますが・・・～

(編) 先生が診ていらっしゃる山田倫太郎くんが書いた「医者をめざす君へ」の本の中で、安河内先生が理想のお医者さんとありますが率直な感想をお願いします。

(安) 医者は患者さんのことを理解しているようで完璧に理解するなんて自分が病気じゃない限りわからない。昔交通事故で3か月入院したことがあるから多少のことはわかるけど、それでも心臓の病気とは全然違うから本当のところはわからない。ただ、その子たちがその子たちなりに一生懸命に自分の可能性に挑戦する姿については、応援できるものには応援する。そういう意味で制限はしないようにしています。彼も言っていたけど、心臓病はハンデや障害じゃなくて神様が与えた「挑戦しなさい」という試練だとすれば、彼は十分病気と生きていることになります。

～間違わない人に進歩はない～

(編) 若い人に伝えたい事はありますか？

(安) まず、自分で考えて、自分で行動して、自分の意見を持つこと。間違わない人に進歩はないからどんどん間違えていいけど、そのかわり失敗がないようにどうすればいいのか考える。常に、もし自分が患者だったら、患者の父親や母親だったら、こどもだったら、どうするのか、どうしたいのかと考える。今の若い人は優等生過ぎる。間違えたくない、自分が責めを負いたくないから冒険しないのではないかな。それから、自分が与えられた環境の中で、学ぼうと思ったらいくらでも学べるチャンスがあるということをお伝えしたいですね。

(編) お忙しい中、お時間いただきましてありがとうございました。

インタビュー：赤羽純恵
写真・記録：平林富子

臨床工学科の紹介

私たち臨床工学技士は、人工心肺装置、人工呼吸器、血液浄化装置、心臓ペースメーカーなどの『生命維持装置』をはじめとする高度医療機器の操作、保守管理、啓蒙教育などを行い、医療機器のスペシャリストとして院内の機器管理に努めています。また手術室、集中治療室などにおいてもチーム医療の一員として医師・看護師などと連携して業務を行っています。人員は3名ですが、“山椒のように小粒でピリリと辛い姿勢”で仕事に取り組んでいます。



PICU増床コラム 第2回

PICUの増床が決まるターニングポイントとなった2015年も終わり、新しい年が幕を開けました。現在は、実施設計といって工事に必要な非常に細かい設計を行っています。下記のように工事の過程で病院に様々な影響のある時期が大きく分けて二つあります。皆さんの御理解を宜しくお願いします。

第一期：2016年5月頃～12月頃

増築棟を作ります。西側の駐車場の利用制限、工事関係車両の出入、騒音・埃・振動の発生が予想されます。

第二期：2017年2月頃～6月頃

既存PICUの改修工事を行います。PICUが2箇所にわかれて診療してゆきます。この期間は2階家族ラウンジが使用できなくなります。

院内学級展がありました

11月29日、30日と2日間にわたり院内学級展が開かれました。授業で作成した習字、七宝焼きの紹介展示やワークショップがありました。ワークショップは、習字、デジタルカメラでスクラップブック作り、お出かけ美術館があり患者さんや保護者の方も参加しました。スクラップブック作りでは「伝えたいこと」をテーマに院内の様々なところで撮った写真を台紙に貼り、シールやリボンなどで飾り付けをしました。最初はどうか悩みながらでしたが、作っていくうちにどんどんアイデアが浮かびたく

さんの色彩にあふれた作品が出来上がりました。患者さんからは「また作ってみたい」「おもしろかった」保護者の方からは「こどもと二人で写真を撮れて楽しかったです」と感想がありました。お出かけ美術館では信濃美術館の学芸員2名の方が来てくださり、日本画の手法を使ったカード作りをしました。普段と違う絵の具に戸惑いながらも、力作が完成しました。作品を制作しているこども達の顔は真剣そのもの、楽しい時間を過ごせました。



松本山雅FC 病院訪問

10月28日、松本山雅FC村山智彦選手（GK1）、柳下大樹選手（FW 41）の病院訪問がありました。

病室では子ども達や付き添いのご家族の方とさわやかに言葉を交わし、ポストカードのプレゼントや、行く先々で快くサインに応じてくださいました。

憧れのサッカー選手との出会いに子ども達や家族、職員も元気もらい、笑顔あふれる楽しい時間を過ごす事ができました。本当にありがとうございました。

職員一同、松本山雅FCを心より応援しております。



エプソン「ゆめ水族館」

11月4日、セイコーエプソン株式会社様（本社・諏訪市）によるバーチャル水族園「ゆめ水族園」が開催されました。

色鮮やかな魚、ペンギン、しろくまなどが周囲の壁や天井を動き回るのを見て、会場の子ども達は大喜びでした。今回の「ゆめ水族館」では移動式のファンタスカーで病棟プレイルームにも出張していただき、病棟から出られない

子ども達も天井いっぱいに広がる水族館を鑑賞しました。「あの魚知ってる！」「本物の水族館みたいだね。」と、声をあげて楽しんでいました。

ゆめ水族館事務局の皆様、素晴らしいイベントをありがとうございました。



ムラタセイサク君・セイコちゃんがやって来た！



11月25日、ヒト型ロボットの「ムラタセイサク君」と「ムラタセイコちゃん」が初めて子ども病院を訪れました。

黙々と自転車のペダルをこいで幅わずか2cmの平均台を渡るセイサク君を、子ども達は目を輝かせて見ていました。イトコのセイコちゃんはこの日ちょっとご機嫌が悪く、一輪車に乗ってくれたのは会場の子ども達が帰った後でした。次はセイコちゃんもみんなの前で一輪車に乗ってくださいね。

株式会社アズミ村田製作所（豊科、本社：京都）の皆様、最先端のロボットを見せていただきありがとうございました。

「ゆいの会」～Music Clown Show～ ましゅ&Kei



「Music Clown Show ましゅ & Kei」の演奏が12月1日にあり、ミュージックベルやピアノカ、バンジョーでクリスマスの曲を披露してくださいました。特に、ミュージックベルの早弾きは圧巻！カルメンをすごい速さで弾いていました。ハーモニカを吹きながら鈴のついた棒でジャグリングしたり、音楽に合わせて風船で犬や花を作ったり、Keiさんの早変わりも見事で歓声

が上がりました。少し早いクリスマスプレゼントをありがとうございました。



MAYA MAXX (マヤ マックス) 原画展示



中庭を望む1病棟の廊下に、画家MAYA MAXXさんの絵本原画が飾られています。赤や青の色鮮やかなねこがたくさん並んでいて、通りかかると人をなごませてくれます。

「ねこ どんなかお」の絵本に載っているのので、本屋さんで探してみてください。



Azumino光のページェント

昨年に引き続き「Azumino.光のページェント実行委員（事務局：ビレッジ安曇野）」の皆様が暗闇に輝く見事な光の世界を作り上げてくださいました。

前回子ども達に人気だった飛行機が今年は2機になって登場。風が冷たくても近くでこの幻想的なイルミネーションを鑑賞しようと、建物から中庭に出る方もいらっしゃいました。

素敵なお光の贈り物をありがとうございました。



妖怪ウォッチカレンダーを 寄贈していただきました

こども達に大人気のジバニャンやウィスパー、ケータ君などが四季折々の景色に登場する妖怪ウォッチオリジナルカレンダーを、日本マクドナルド「安曇野インター店」様から寄贈していただきました。これから1年間、入院中のこども達の目を楽しませてくれるアイテムです。本当にありがとうございました。



サンタ・プロジェクトの皆様から プレゼントをいただきました

12月21日、市民運動「サンタ・プロジェクト・まつもと」（代表：西垣恭子様）から、包装紙に包まれた124冊の本がこどもたちに届けられました。書店で本を購入し、心温まるメッセージを添えてプレゼントしていただきました。皆様、本当にありがとうございました。



“akush”様から プレゼントをいただきました

小児がん、難病のこども達の支援を行っている東信地区の有志グループ「akush」様から、絵本やおもちゃなどを寄贈していただきました。5月に佐久市内で行われたチャリティーワークイベントで集まった募金等を基にした、心のこもったクリスマスプレゼントです。本当にありがとうございました。



クリスマスツリーを 飾りました

エントランスホールにクリスマスツリーが飾られました。今年は暖冬で外に雪はありませんが、ホールの中はホワイトクリスマスになりました。



栄養科通信 第5回

栄養科では今年も12月24日、25日にクリスマスメニューを作りました♪



ビスケットやゼリーを可愛く包装して、クリスマスの雰囲気を出してみました。



クリスマスと言えばチキン♪骨の無い鳥肉を使ってローストチキンを作り、フロッキー・ツリーサラダを添えました。コンソメスープには星型の人参を浮かべてあります☆



患者様の年齢に合わせて、色々な大きさのカットケーキを作り、苺を添えました♪

連載
第5回

ベトナムのお正月

新年明けましておめでとうございます。今年も皆様にとってますますご繁栄の年となりますように。ちょうど新年なので今回はベトナムのお正月、テトについてです。

ベトナムは陰暦を使っているため元旦の日は毎年変わり、1月か2月の間です。ベトナムの人達にとってテトは家族が集まる大切な行事なので、勤務していたクリニックではテト中は私たち外国人が多くシフトに入っていました。日本で門松や松飾りを飾るように、ベトナムではホアマイというテトの花が飾られます。これは梅の花に似ていて北部ではピンクの花、南部では黄色の花が飾られます。なので私は、テトといえば街中が黄色の花の飾りに溢れるイメージです。ベトナムの西瓜はラグビーボールのように長細い形が多いですが、テトのお供え物には丸い西瓜が好まれます。

これはお金をイメージしているのだそうです。お年玉のようにお世話になっている人にお金を渡す習慣もあります。日本ではお年玉を子供にあげますがベトナムではアパートの受付の人、清掃のおばさんやいつも水を配達してくれるおじさんなど大人同士も渡すため、実は結構な出費でした。少し前までは縁起のいい赤色のお札が好まれたため、テト前には赤い色の新札の準備が大変だったそうです。またもちろんテトならではの料理もあります。多くの家庭では粽（ちまぎ）を作るため、テト前になるといつも通っている道に突然大きな鍋が置かれ、道端で近所の人の粽が蒸されているということもありました。車が通る時はどうするのだろうといつも不思議でした。またゆで卵の入った豚の角煮もテトの定番料理です。魚から作るヌックマムで味



▲会社の前などに飾られるホアマイ

付けをするため日本の角煮とは少し違いますが、それはそれでとても美味しいです。テトの間はできるだけ家事をしないようにというのも日本と同じようで、角煮はたくさん作っておいて毎日火を通しながら食べるのだそうです。主に外国人に向けて最近ではテトから開いているお店も増えてきましたが、ベトナムのお正月は街から人気なくなり、いつもバイクで溢れている道路も交通量がまばらとなり、心なしか空気も澄んでお正月特有の街の静けさを感じられます。まるで自分が子供の頃のお正月のようで、私はそんな静けさも好きでした。（テトの間は不便なのでベトナムから出てしまうことも多かったのですが・・・）今年も今頃はホーチミンの街は黄色いホアマイに包まれていることでしょう。



▲テト前のホテルのカフェ。
手前見える金柑もよくお正月に飾られます。



▲目抜き通りでは趣向をこらした花が展示され、
多くの人を楽しみます。

長野県立こども病院 小児医療・公的事業に係る支援のお願い

長野県立こども病院は、県内唯一の小児専門病院として、周産期及び小児高度専門医療を提供する病院として設置され、県全体の小児医療水準の向上にも寄与しています。

平成5年の開院以来、質が高く、安全な医療の提供を目指して取り組んでおり、その運営にあたっては、皆様の温かなご支援に支えられてまいりました。

皆様からの善意の寄附は、子どもが読む図書や玩具等

の購入やプレイルームの充実など、こども病院の運営に有効に活用させていただいております。

引き続き、こども病院の運営と患者の療養環境の整備のため、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

※長野県立こども病院への本寄附金は、税制の優遇措置の対象となっております。

詳しくは、当院ホームページをご覧ください。

……本寄附金に関するお問合せ先……

担当：地方独立行政法人長野県病院機構 長野県立こども病院事務部 次長 三枝哲一郎、臼井節子
TEL 0263-73-6700 FAX 0263-73-5432

ご寄附いただきました方々への感謝の意を込めまして、ここにご芳名を掲載させていただきます。(希望されない方を除く)

(株)スナト、(株)井上、(株)アズミ村田製作所、塔の原内川医院、高橋宏幸、中央石油(株)、太田皮膚科クリニック、(一社)須高医師会、相馬雄二、マル井醤油(株)、アズビル太信(株)、(有)バンクRAFT、増田景一、ハウスサンアントン、(一社)上田市医師会、(一社)千曲医師会、他 2名 (順不同)

一品物

平成27年10月 布山、大池 平成27年11月クオリティフーズ(株)スタッフ一同、上原

平成27年10月～11月受付分(敬称略)

ご寄附いただきました皆様、本当にありがとうございました。

長野県立こども病院 院内研修会予定



〔長野県小児救急研修会(仮)〕

講師：国立成育医療研究センター救急診療科 辻聡先生、植松悟子先生

日時：平成28年3月18日(金)午後6時00分～

場所：南大会議室

内容：都会の小児救急、小児救急のトレーニング等小児救急について辻聡先生、植松悟子先生をお招きしてお話いただきます。国立成育医療研究センターは小児救急を専門とする部門のある数少ない病院のひとつです。貴重な機会ですので奮ってご参加下さい。

担当：天笠俊介(小児集中治療科)

編集後記

あけましておめでとうございます。お正月はいかがお過ごしでしたか?定番の年賀状やおせち料理は最近すたれ気味になっていますが、お年玉はまだまだ健在です。何しろ需要がありませんからね。年に一度のお年玉を手にした子ども達は皆うれしそうです。特に幼い子ども達は日常生活では縁のない大金をいただいて気持ちが高ぶっています。そしてちょっぴり不安な気持ちにもなっています。そこに甘い言葉が耳元でささやかれます。「使うときまでおかあさんが預かってあげるからね。」思い起こせば数十年前、私が親に預けたなげなしのお年玉はどうなっているのでしょうか。今頃は金利が膨らんでスゴイことに・・・なっているはずはないですよ。お年玉を渡す(預かる)側になって幾星霜、少しずつ立場を変えながら同じことを繰り返す、人の世の移ろいを感じるお正月です。

小木曾

長野県立こども病院 外来医師担当表

外来名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
整形外科	渡邊 佳洋 (AM)	藤岡 文夫 (AM) 高橋 淳 (PM) (第4)	松原 光宏 加藤 博之 ^{※1}	松原 光宏 (AM)	松原 光宏
小児外科		畑田 智子 (AM) 好沢 克 (AM) 高見澤 滋 (PM)	高見澤 滋 (PM)	畑田 智子 (AM) 好沢 克 (PM)	岩出 珠幾 (AM)
眼科	北澤 憲孝 視能訓練	視能訓練	視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練	北澤 憲孝 視能訓練 (AM)
総合小児科	南 希成 (AM) (PM4時~5時予防接種相談)	樋口 司	樋口 司 (PM) 南 希成 (PM) (ワクチン接種)	南 希成 (AM) (PM4時~5時予防接種相談)	樋口 司 (AM)
総合小児科 アレルギー外来	小池 由美 (PM)		小池 由美 (AM)		
総合小児科 内分泌・代謝外来		竹内 浩一		竹内 浩一	竹内 浩一 (AM)
血液腫瘍科 免疫・アレルギー外来			小林 法元 (AM)		
血液腫瘍科 血液・腫瘍外来	坂下 一夫 柳沢 龍	坂下 一夫 (AM)	坂下 一夫	坂下 一夫	柳沢 龍
循環器科 (内科・外科)	岡村 達 (AM) 梅津健太郎 (AM) (外科)	安河内 聰 瀧間 浄宏 田澤 星一 (内科)	原田 順和 (AM) 岡村 達 (AM) 梅津健太郎 (AM) (外科)	安河内 聰 瀧間 浄宏 武井 黄太 (内科)	田澤 星一 武井 黄太 (内科)
循環器科 成人移行期外来		元木 博彦 (AM) (第2・第4)			
リハビリテーション科					笛木 昇 (AM)
精神科 こころの診療科					篠山 大明 ^{※2}
脳神経外科	重田 裕明 宮入 洋祐	重田 裕明 宮入 洋祐		重田 裕明 宮入 洋祐	
泌尿器科 皮膚・排泄ケア外来	市野みどり		市野みどり	市野みどり (AM)	
神経小児科	平林 伸一 (午前は発達障害専門外来) 福山 哲広	平林 伸一 (午前は発達障害専門外来) 福山 哲広 (PM) 中嶋 英子 (AM)	平林 伸一	佐々木 拓 (AM) (第1・3) 中嶋 英子 (AM) (第2・4)	平林 伸一 福山 哲広
小児外科					高見澤 滋 (胃瘻・中心静脈栄養外来)
新生児科	小田新 (AM) (第1・3・5) 亀井良哉 (AM) (第2・4) 中村 友彦 (PM)	廣間 武彦	関 聡子	廣間 武彦	山口 由美
形成外科	野口 昌彦 藤田 研也 (AM) 一之瀬優子 (AM)		野口 昌彦 藤田 研也 一之瀬優子 (AM)	野口 昌彦 (PM)	野口 昌彦 (PM) 杠 俊介 (PM) 藤田 研也 (PM) 永井 史緒
総合小児科			中山 佳子 (AM) (第1) (消化器) 水城 弓絵 (AM) (第2) (内分泌系)		
麻酔科	大畑 淳 (AM)				大畑 淳 (AM)
皮膚科				芦田 敦子 (AM)	
遺伝科	古庄 知己 (AM11時~)	西 恵理子	西 恵理子	西 恵理子 (AM) 泉 幸佑 (PM) (第2・4) 高野 亨子 (PM) (第3)	西 恵理子 (AM) (PM2時~)
耳鼻咽喉科	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	佐藤梨里子	宮川麻衣子 (AM) (第1) 森 健太郎 (AM) (第2・3・4)
循環器小児科 胎児心臓外来		武井 黄太	松井 彦郎	田澤 星一	瀧間 浄宏
産科	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代	吉田 志朗 高木紀美代
リハビリテーション科	笛木 昇	関 千夏 (AM) 笛木 昇 (PM)	笛木 昇	原田由紀子 三澤 由佳 (AM)	笛木 昇 (PM)

※1 整形外科の加藤医師は3ヶ月に1回第3週のみ診察となります。
 ※2 精神科(こころの診療科)篠山医師は第1~4週の診察となります。
 外来の初診は、受付していません。

★診察時間：午前9時~午後4時
 ★休診日：土・日曜日、祝祭日、年末年始
 ★受診には、原則として予約が必要です。

予約専用電話
0263-73-5300